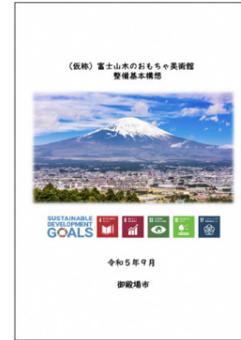


(仮称) 富士山 木のおもちゃ美術館について

(仮称) 富士山 木のおもちゃ美術館は、①地域の森林や里山を守り、御殿場の木材の積極的に活用する、②多世代に渡り「木育」を通じた豊かな暮らしを創造する、③市民活動の中核拠点として「木育のシンボル」となる施設を目指す、④御殿場の歴史や文化、ブランド木材の発信拠点として観光資源にすることを目的とし、樹空の森内に新たに整備を予定している施設です。

2026年の夏ごろの開館を目指し、現在、敷地の造成や内装・玩具の設計、建物の設計が進んでいます。

(仮称) 富士山 木のおもちゃ美術館整備基本構想



ワークショップのプログラム

- 13:30 開会・あいさつ
- 13:35 オリエンテーション
 - ①前回の振り返り
 - ②全国のおもちゃ美術館のオリジナルコンテンツ紹介
 - ③御殿場らしいオリジナルコンテンツのヒント
- 14:00 グループワーク
 - ①御殿場・富士山の魅力を深掘りする
 - ②オリジナルコンテンツとして取り入れたいアイデアをまとめる
- 15:30 発表・まとめ
- 15:55 今後の予定のご案内
- 16:00 閉会



富士山 木のおもちゃ美術館

検索

今後も、(仮称) 富士山 木のおもちゃ美術館の整備等に関する進捗状況を、市のホームページを中心に情報発信いたします。ご興味・ご関心をお持ちの方は、市のホームページの検索窓から「富士山 木のおもちゃ美術館」で検索いただき、最新情報をご覧いただければ幸いです。

vol.02

(仮称) 富士山 木のおもちゃ美術館の整備に向けた市民ワークショップ

開催のキロク

2024年2月発行

御殿場らしいおもちゃ美術館のオリジナルコンテンツを考えるワークショップを開催しました！



御殿場らしいおもちゃ美術館のオリジナルコンテンツを考えよう
第2回 2024.1.20 (土) 13:30-16:00

御殿場市では、地域の森林や里山を守るとともに、地域の木材の積極的な活用を図ることなどを目的に、木育の象徴となる「(仮称) 富士山 木のおもちゃ美術館」の整備を進めています。東京おもちゃ美術館とも連携して、御殿場らしい木のおもちゃ美術館をつくるため、市民の皆様と一緒に考える市民ワークショップを実施しました。2024年1月20日に実施した第2回のワークショップでは、4つのグループに分かれて御殿場らしいおもちゃ美術館のオリジナルコンテンツなどを出し合うグループワークを行いました。

グループワークのまとめ

御殿場らしいおもちゃ美術館のオリジナルコンテンツを考えよう

参加者から出されたオリジナルコンテンツとして取り入れたい内容をグループで共有し、ジャンルごとに分類して整理しました。多くのご意見をいただいたなかで、主要なものを掲載しています。(太字は重要度の高いもの)

御殿場・富士山の魅力の深堀り

- ・富士山や宝永山、富士五湖、溶岩洞窟など、富士山がつくった恵みや形状を活かせないか
- ・富士山があり、御殿場市民それぞれがとっておきのビューポイントを持っている
- ・富士登山、御殿場口の砂走りが特徴
- ・富士山の山小屋
- ・溶岩樹形や風穴がある

オリジナルコンテンツのアイデア

- ・富士山御殿場口登山道の砂走りのようなすべり台
- ・山小屋、ツリーハウス、洞窟などでこまれる場所を複数つくりたい
- ・溶岩、砂走りを体験できるもの
- ・わらじを履いた登山体験のあと、富士山のすべり台から富士五湖を表現した木のプールに飛び込みたい
- ・ボルダリングで登って砂走りで滑る、高さ 3.776 mのすべり台の中に洞窟がある遊具
- ・富士山登山をイメージした、ボルダリングの壁
- ・富士山ビューの窓と水性クレヨンを活用した富士山落書き体験
- ・荷物を背負った登山体験
- ・富士山の木の模型で光や音を使った学習コンテンツを展開
- ・富士山の模型に絵の具を流すと、溶岩の流れを学ぶことができる
- ・富士山を見ながらゆっくりできるスペース
- ・宝永山チェアー
- ・富士山の絵を描いたものを集めて、巨大なモザイクアート富士山をつくる

- ・噴火の歴史がわかるつみ木
- ・富士山モチーフのおもちゃ
- ・ミニチュア金剛杖に焼印でスタンプを押す

御殿場・富士山の魅力の深堀り

- ・富士山をはじめとする高地の生き物の豊かな生態系
- ・富士山の天気や空、雲などの景色の移り変わりや美しさ
- ・緑や森などの自然が多い
- ・多種の鳥が見られるので、バードウォッチングが楽しめる
- ・富士山の自然の風景
- ・野草が多く生えている
- ・施設として捉えるより自然の一部として考えると良い
- ・降雪量は減ってきているが、雪を活かす
- ・温泉や温泉施設
- ・火山灰の土や土壌がある
- ・溶岩、御胎内のトンネル、風穴がある
- ・夏も冷涼な高原気候である
- ・湧き水が豊か
- ・四季がはっきりしていて霧や雪が多い
- ・観光名所がある

オリジナルコンテンツのアイデア

- ・田んぼなど土のにおいを感じられるもの
- ・御殿場の林業と自然体験をつなぎ、大人も子どもも木を知る機会をつくる
- ・富士あざみ風のおもちゃを登山しながら花摘み
- ・溶岩洞窟風の囲まれた空間で、周囲に木製の高原の生態を広げる
- ・御胎内公園や樹空の森を活用した屋外イベント
- ・風穴トンネルを再現し、自衛隊訓練の体験を組み合わせる
- ・屋外で御胎内洞窟の探検、富士山周辺の生態系散策ツアー
- ・野草のおもちゃをつくり、学びとフィールドワークができるイベント
- ・溶岩の器に野草を寄せ植え
- ・木を使った雲のワークショップ・展示
- ・富士山の霧の風景をカンナくずで表現
- ・カンナの削り体験
- ・富士山にかかる雲での天気予報のクイズ
- ・間伐材を活用した木工体験ワークショップ

自然・景観・生き物

自然・景観・生き物

- ・鳥のオブジェと鳴き声を館内に設置し、バードウォッチングのような体験ができる
- ・窓の外に野鳥が集まるトイレ
- ・VRなどを活用し、自然の疑似体験ができる
- ・富士山型の「大工さん」をつくって、湧き水を模した木がでてくる
- ・敷地内にサウナもあると良い
- ・身近な木を知るネームプレートをつくる
- ・持ち帰りできる体験型のコンテンツ

御殿場・富士山の魅力の深堀り

- ・御殿場産の茅葺き屋根の質の高さや、わら職人がつくるわらじが有名
- ・山小屋や茅葺き小屋を活かす
- ・徳川家康が鷹狩りに来ていて、御殿をつくりたかった
- ・馬力のエネルギーを使うことが多かったため、馬頭観音として祀る文化があった
- ・湯立神楽がある
- ・印野小には郷土カルタがある

オリジナルコンテンツのアイデア

- ・茅葺きやわらじなど職人や匠から学ぶ夏休み体験ワークショップ
- ・HOUSE in HOUSE で山小屋や茅葺き小屋などの自由な空間を設置したい
- ・屋外でのリアル鷹狩りショー
- ・木製の御殿場の郷土カルタをつくる

御殿場・富士山の魅力の深堀り

- ・御殿高原ビールが美味しい
- ・富士山に一番近い田んぼのお米が美味しい
- ・特産品のスズ竹行李こすりを活かす
- ・米やみくりやそばなどの食の名物がある
- ・地元業者とのつながりを深めてスポンサーになってもらう
- ・米やハムなどの食を生かす

オリジナルコンテンツのアイデア

- ・おもちゃで遊んだ後に実物が食べられるカフェがあると良い
- ・大人も楽しめるように、キャンプ場と連携して木製食器のクラフト体験から、BBQ やビールを楽しむ体験につなげる
- ・来館者がゆっくり滞在できるフリースペース

特産品

- ・カフェの設置が難しい場合はキッチンカー
- ・御殿場の特産品のごっこ遊び
- ・木製のおそばづくり体験
- ・馬車鉄道レプリカのレンタル展示
- ・田んぼ風の空間の近くでかかしづくりワークショップ
- ・田植え体験、稲刈り体験の木のおもちゃ
- ・米つかみ、箸づくり
- ・御殿場産の木製将棋コーナー
- ・ススキの迷路
- ・屋上に足湯

御殿場・富士山の魅力の深堀り

- ・周辺施設と連携する
- ・やっぱり人が大事
- ・自衛隊の総合火力演習
- ・自衛隊があり、面積が大きい
- ・自衛隊との関係を生かしてポジティブな面も伝えたい
- ・黒澤作品の映画のロケ地として使われている
- ・テニスコートが多い
- ・隣接する神奈川を含んだ静岡東部の観光アクセスが良い
- ・おもちゃ美術館は新東名のインターが近いという立地を活かしたい
- ・アウトレットには全国から人が来ている
- ・駅伝が強い
- ・マナーが良く、人柄が穏やか

オリジナルコンテンツのアイデア

- ・中高生が活躍する機会をつくる
- ・木育キャラバンに参加してもらう
- ・外国人向けの運営用マニュアルがあると良い
- ・SNSのファンクラブで情報発信
- ・御殿場にまつわる鳥の声や自衛隊の大砲の音などを紹介したり、体感ができる
- ・木の戦車
- ・木製戦車の砲身の中に入って輪ゴム鉄砲を打つ
- ・自衛隊監修の輪ゴム鉄砲でサバイバルゲーム
- ・御殿の風景として、富士山と戦車を紹介する
- ・富士スピードウェイと連携して、木製のサーキットやミニカーなどをつくって走らせる
- ・御殿場駅伝すごろく
- ・御殿場市を回遊するルートができてほしい

その他

富士山